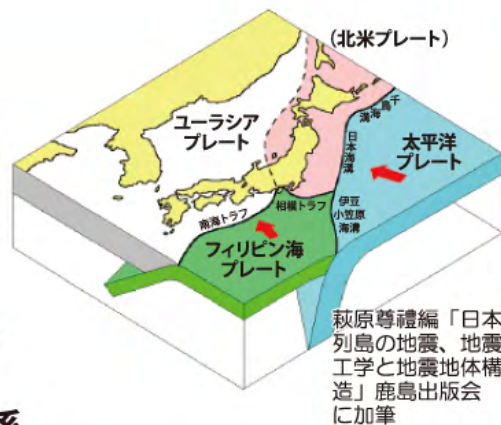


地震を知る

日本は地震多発地帯

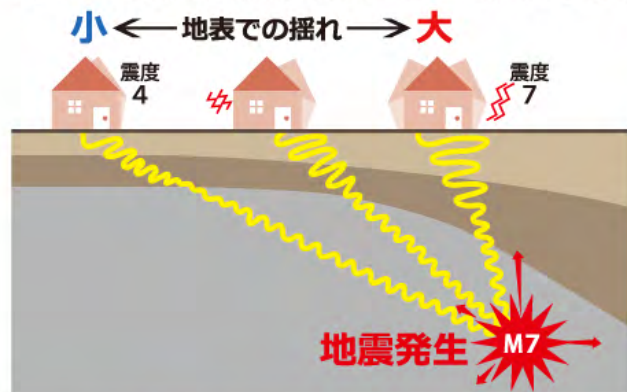
日本周辺は、複数のプレートによって複雑な力がかかっており、世界でも有数の地震多発地帯となっています。マグニチュード6以上の地震回数は、世界で発生した地震のうち約2割が日本で発生しています。



萩原尊禮編「日本列島の地震、地震工学と地震地体構造」鹿島出版会に加筆

震度とマグニチュード

震度は、ある地点における地震の揺れの強さを示します。このため、同じ地震でも震源からの距離などによって震度は変わります。マグニチュード(M)は、地震のエネルギーの規模を示します。マグニチュードが1増えると地震の規模は約32倍に増大します。

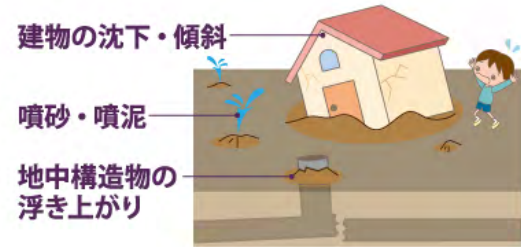


震度と揺れの関係

- 5弱**
 - 多くの人々が、身の安全を図ろうとする。一部の人々は、行動に支障を感じる。
 - 座りの悪い置物の多くが倒れ、家具が移動することがある。
- 5強**
 - 非常に恐怖を感じる。多くの人々が、行動に支障を感じる。
 - 棚にある食器類、書棚の本の多くが落ちる。タンスなど重い家具が倒れることがある。
 - 補強されていないブロック塀の多くが崩れる。多くの墓石が倒れる。
- 6弱**
 - 立っていることが困難になる。
 - 固定していない重い家具の多くが移動、転倒する。開かなくなるドアが多い。
 - かなりの建物で、壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する。
- 6強**
 - 立っていることができず、はわないと動くことができない。
 - 固定していない重い家具のほとんどが移動、転倒する。戸が外れて飛ぶことがある。
 - 多くの建物で、壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する。補強されていないブロック塀のほとんどが崩れる。
- 7**
 - 揺れにほんろうされ、自分の意志で行動できない。
 - ほとんどの家具が大きく移動し、飛ぶものもある。
 - ほとんどの建物で、壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する。補強されているブロック塀も破損するものがある。

大地震の時の液状化現象

地震などの大きな揺れが一定時間続くと、地下水を含む軟弱な砂質土盤では液状化現象が発生する可能性が高くなります。この現象により、建物が傾いたり道路が陥没したりする被害が発生します。



国民保護を知る

国民保護とは、武力攻撃事態や緊急処理事態から、国民の生命、身体及び財産を保護することを行います。国では、我が国の平和と安全を確保するため、外交努力や国際平和協力等を通じ、国際社会の平和と協調を図る取組みが行われています。

武力攻撃事態	着上陸侵攻	ゲリラ・特殊部隊による攻撃	緊急処理事態	危険物質を有する施設への攻撃	大規模集客施設等への攻撃
	弾道ミサイル攻撃	航空攻撃		大量殺傷物質による攻撃	交通機関を破壊手段としたテロ

防災情報を知る

気象情報・特別警報

気象情報

出典：気象庁

		警報	注意報
		重大な災害が起こるおそれのあるとき	災害が起こるおそれのあるとき
大雨	浸水害	■表面雨量指数基準※1：24	■表面雨量指数基準※1：7
	土砂災害	◆土壌雨量指数基準※2：145	◆土壌雨量指数基準※2：100
洪水		流域雨量指数・指定河川洪水予報による基準	流域雨量指数・指定河川洪水予報による基準
記録的短時間大雨情報		■1時間雨量100mm	

※1：表面雨量指数とは、短時間強雨による浸水危険度の高まりを把握するための指標です。
※2：土壌雨量指数とは、降雨による土砂災害の危険性をあらわす指標で、土壌中に貯まっている雨水の量を示す指数です。

特別警報

特別警報は、警報の発表基準をはるかに超える数十年に一度の大災害が起こると予想される場合に発表し、対象地域の住民の方々に対して最大限の警戒を呼びかけるものです。特別警報には、「大雨」「暴風」「暴風雪」「大雪」「高潮」「波浪」があります。

土砂災害警戒情報

土砂災害警戒情報とは、大雨警報発表後も雨が降り続き、土砂災害発生の危険性が高まった時に、茨城県と水戸地方気象台が共同で発表する防災情報です。情報は市町村単位で発表され、市の避難勧告などの判断支援をし、市民のみなさんが自主的に避難する判断にも利用ができます。土砂災害警戒情報が発表された時は『いつ土砂災害が起きてもおかしくない』という非常に危険な状態なので、注意が必要です。特に、自宅付近にがけなどがある場合は、周囲の様子に注意して、早めの避難を心がけましょう。



竜巻注意情報

竜巻発生の可能性に応じ、段階的な情報発表が気象庁より行われます。竜巻注意情報が発表された場合には、空の状況に注意を払い、積乱雲が近づいたら身の安全を図ってください。

情報発表のタイミング

半日～1日前	「気象情報」発表 「竜巻など激しい突風のおそれ」と明記します。	竜巻が発生しやすい気象状況かどうか事前に確認
数時間前	「雷注意報」発表 落雷、ひょう等とともに、「竜巻」も明記します。	外出前に最新の注意報を確認
0～1時間前	「竜巻注意情報」発表 今、まさに竜巻の発生しやすい気象状況になっていることをお知らせします。	空の様子に注意し、積乱雲が近づくと兆しを感じたら、ただちに身の安全を確保
常時(10分毎)	「竜巻発生確度ナウキャスト」 ナウキャストで詳細な領域を把握できます。	戸外では、携帯電話サービスで最新のナウキャストを随時確認